

岡山県の景気観測調査

(令和元年7～9月期実績)

令和元年10月24日

岡山県商工会議所連合会

1. 調査方法 FAXによるアンケート
2. 調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①令和元年7～9月期を前年同期と比較
②令和元年10～12月期の先行き見通しを令和元年7～9月期と比較
3. 調査時期 9月下旬
4. 調査対象 県下商工会議所会員企業580社
5. 有効回答数 554社 (回収率95.5%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|------------|------------|
| 製造業 | 188社 | 食料品29社 | 繊維関連35社 | 紙・印刷・出版22社 |
| | | 機械金属34社 | 電気・精密機械12社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具12社 | その他35社 | |
| 建設業 | 86社 | | | |
| 卸売業 | 73社 | | | |
| 小売業 | 93社 | | | |
| サービス業 | 114社 | | | |
6. 調査開始時期 平成10年12月

7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式

DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、
マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

8. 問い合わせ先 岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	事業推進部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	総務課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	経営支援課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	中小企業相談所	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	経営支援部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	総務企画課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	業務課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

令和元年7～9月期「景況概要」

「景況は4期ぶりに悪化、懸念材料多く、慎重な見方続く」

景況全体では、DI値が▲7.9と前期(▲5.1)に比べ、2.8ポイントマイナス幅が拡大し、4期ぶりに悪化した。業種別に見ると、建設業でDI値が改善したが、製造業、卸売業、小売業、サービス業ではDI値が悪化した。項目別で見ると、受注額、原材料・商品仕入価格ではDI値が改善したものの、生産額・売上額、製品・商品販売価格等多くの項目でDI値が悪化した。また、従業員数(常用)は5期連続でDI値が最高値を更新し、人手不足感はさらに高まっている。10月の消費増税による消費の落ち込み、米中貿易摩擦の影響など国内外に懸念材料が多く、先行きは慎重な見方が続いている。

1. 景況

総合DI(好転-悪化)は▲7.9と4～6月期に比べ2.8ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、建設業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、卸売業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI(増加-減少)は▲7.9と4～6月期に比べ2.3ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

3. 受注額

総合DI(増加-減少)は3.3と4～6月期に比べ4.7ポイント好転しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、建設業でプラス幅が拡大、製造業でマイナス幅が縮小した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI(下降-上昇)は▲28.3と4～6月期に比べ3.9ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI(上昇-下降)は7.2と4～6月期に比べ2.6ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI(減少-増加)は3.3と4～6月期に比べ0.4ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、製造業でプラス幅が拡大、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小した。

7. 資金繰り

総合DI(好転-悪化)は▲6.9と4～6月期に比べ1.1ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、建設業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

8. 採算(収益)

総合DI(好転-悪化)は▲12.3と4～6月期に比べ2.7ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

9. 従業員(常用)

総合DI(不足-過剰)は29.9と4～6月期に比べ1.8ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、製造業、卸売業、小売業でプラス幅が拡大した。しかし、建設業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

10. 従業員(臨時)

総合DI(不足-過剰)は21.7と4～6月期に比べ2.4ポイントプラス幅が縮小した。業種別では、製造業でプラス幅が拡大した。しかし、建設業、卸売業、小売業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

1. 景況

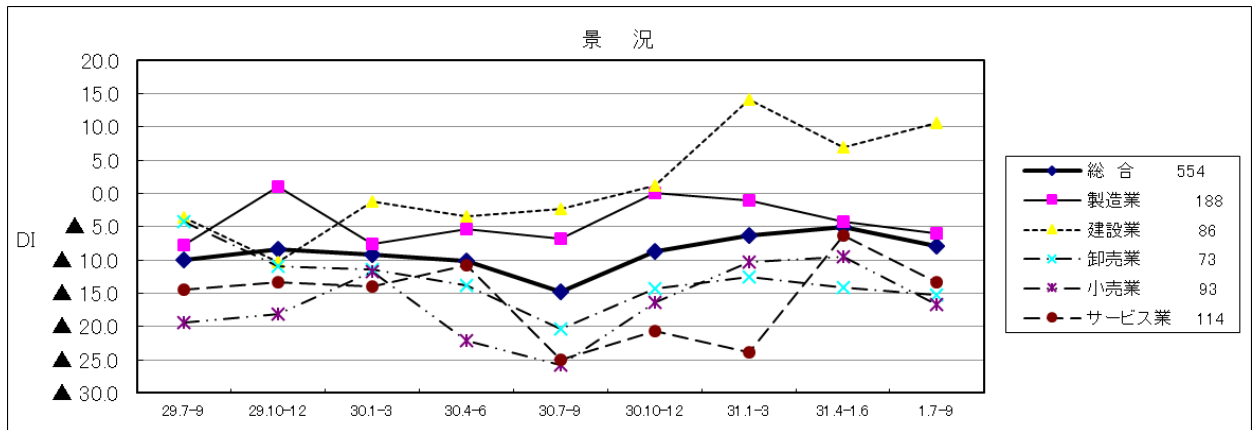
(1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲7.9と4～6月期に比べ2.8ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、建設業でプラス幅が拡大した。しかし、製造業、卸売業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

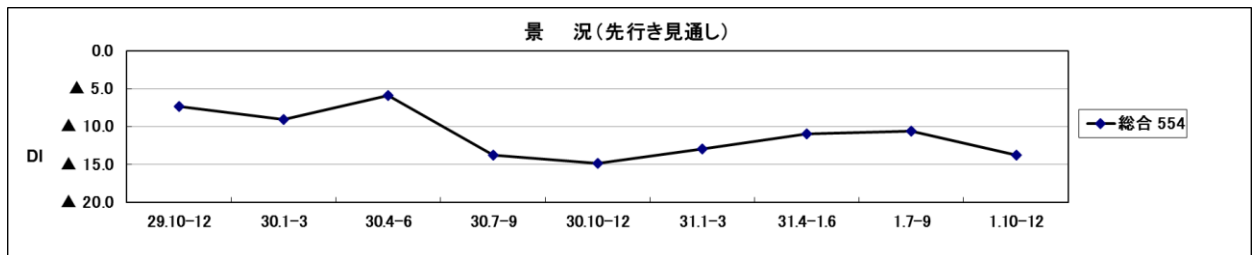
令和元年10～12月期の先行き見通し総合DIは▲13.8（前回調査時の先行き見通し総合DI ▲10.6）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

景況		29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	554	▲10.1	▲8.5	▲9.1	▲10.1	▲14.8	▲8.7	▲6.3	▲5.1	▲7.9
製造業	188	▲7.7	1.1	▲7.5	▲5.3	▲6.8	0.0	▲1.1	▲4.3	▲5.9
建設業	86	▲3.6	▲10.3	▲1.2	▲3.5	▲2.4	1.2	14.1	6.9	10.6
卸売業	73	▲4.2	▲11.0	▲11.4	▲13.9	▲20.3	▲14.3	▲12.5	▲14.1	▲15.3
小売業	93	▲19.4	▲18.1	▲11.7	▲22.1	▲25.8	▲16.3	▲10.2	▲9.6	▲16.7
サービス業	114	▲14.4	▲13.3	▲13.9	▲10.7	▲25.0	▲20.7	▲23.9	▲6.4	▲13.3



<参考> 先行き見通し

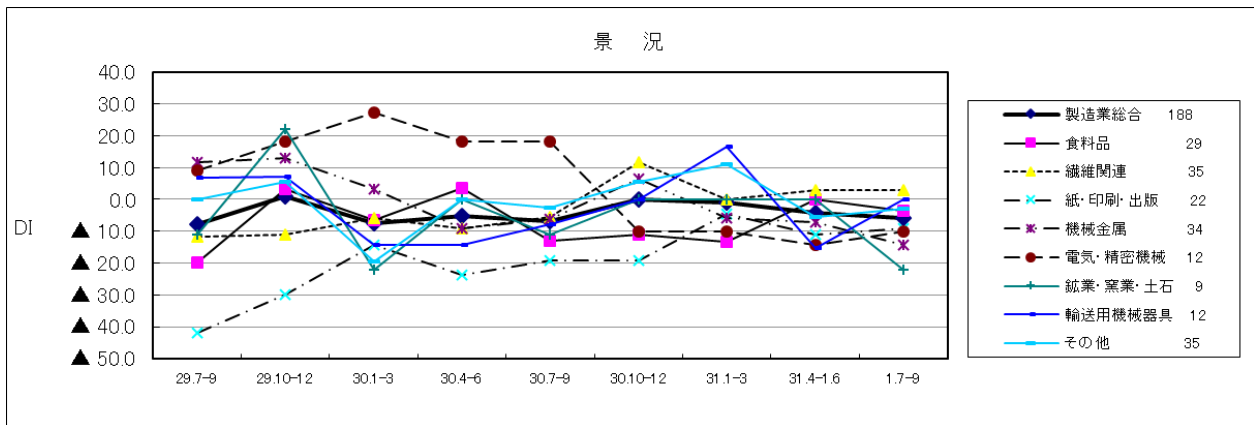
先行き見通し		29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	554	▲7.3	▲9.1	▲5.9	▲13.8	▲14.8	▲12.9	▲11.0	▲10.6	▲13.8



(2) 製造業の内訳

繊維関連ではプラス幅が拡大、輸送用機械器具ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版、電気・精密機械、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、機械金属ではマイナス幅が拡大した。

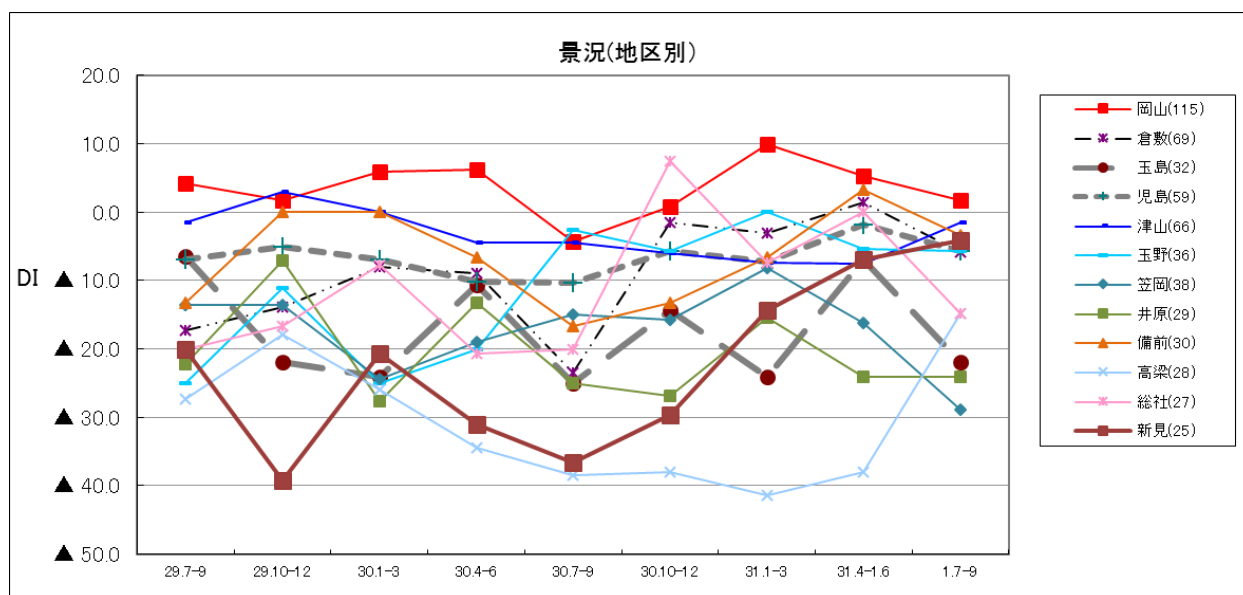
景況		29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	188	▲ 7.7	1.1	▲ 7.5	▲ 5.3	▲ 6.8	0.0	▲ 1.1	▲ 4.3	▲ 5.9
食料品	29	▲ 20.0	3.2	▲ 6.7	3.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 13.3	0.0	▲ 3.4
繊維関連	35	▲ 11.8	▲ 11.1	▲ 5.7	▲ 9.1	▲ 5.6	11.8	0.0	2.9	3.0
紙・印刷・出版	22	▲ 42.1	▲ 30.0	▲ 14.3	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 4.5	▲ 11.1	▲ 9.1
機械金属	34	11.5	12.9	3.3	▲ 9.1	▲ 6.3	6.5	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 14.3
電気・精密機械	12	9.1	18.2	27.3	18.2	18.2	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	9	▲ 11.1	22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	0.0	0.0	0.0	▲ 22.2
輸送用機械器具	12	6.7	7.1	▲ 14.3	▲ 14.3	▲ 7.7	0.0	16.7	▲ 15.4	0.0
その他	35	0.0	5.4	▲ 19.4	0.0	▲ 2.6	5.4	11.1	▲ 5.6	▲ 2.9



<参考>地区別

津山、高梁、新見ではマイナス幅が縮小、井原ではマイナスで横ばいとなった。しかし、岡山ではプラス幅が縮小、倉敷、備前ではプラスからマイナスへ転換、総社ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、玉島、児島、玉野、笠岡ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
岡山(115)	4.3	1.7	5.9	6.2	▲ 4.3	0.9	9.9	5.4	1.7
倉敷(69)	▲ 17.2	▲ 13.8	▲ 7.9	▲ 9.0	▲ 23.4	▲ 1.6	▲ 3.1	1.4	▲ 5.8
玉島(32)	▲ 6.5	▲ 21.9	▲ 24.1	▲ 10.7	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 24.1	▲ 6.9	▲ 21.9
児島(59)	▲ 6.9	▲ 5.1	▲ 6.9	▲ 10.2	▲ 10.3	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 5.7
津山(66)	▲ 1.5	3.0	0.0	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 1.5
玉野(36)	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 2.6	▲ 5.7	0.0	▲ 5.4	▲ 5.7
笠岡(38)	▲ 13.5	▲ 13.5	▲ 24.3	▲ 18.9	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ 8.1	▲ 16.2	▲ 28.9
井原(29)	▲ 22.2	▲ 7.1	▲ 27.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 24.1
備前(30)	▲ 13.3	0.0	0.0	▲ 6.7	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 6.7	3.3	▲ 3.3
高梁(28)	▲ 27.3	▲ 17.9	▲ 25.9	▲ 34.5	▲ 38.5	▲ 37.9	▲ 41.4	▲ 37.9	▲ 14.8
総社(27)	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 7.7	▲ 20.7	▲ 20.0	7.4	▲ 7.4	0.0	▲ 14.8
新見(25)	▲ 20.0	▲ 39.3	▲ 20.7	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 29.6	▲ 14.3	▲ 6.9	▲ 4.2



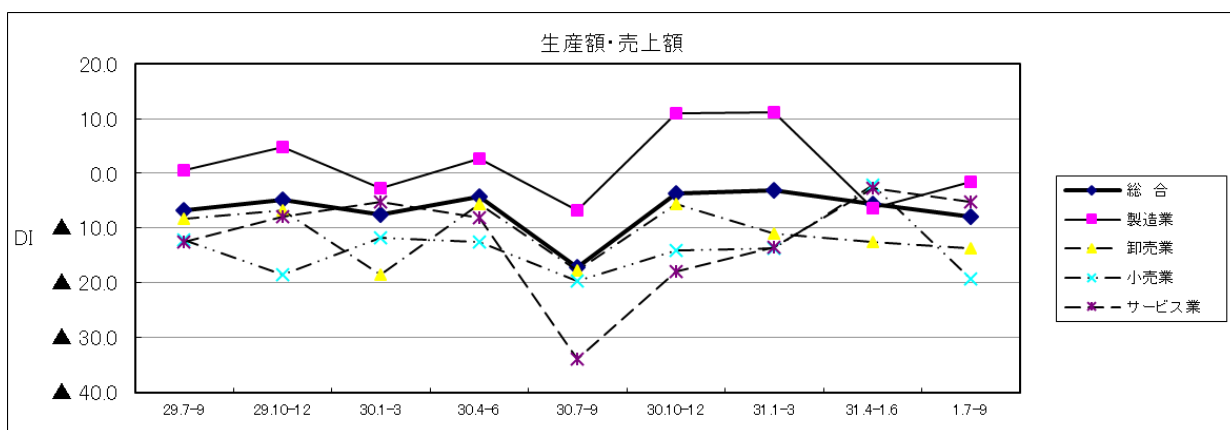
2. 生産額・売上額

(1) 全体

総合D I（増加－減少）は▲7.9と4～6月期に比べ2.3ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

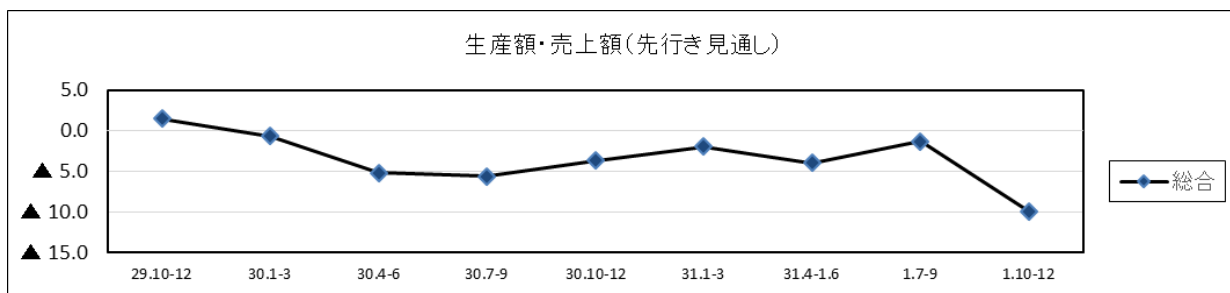
令和元年10～12月期の先行き見通し総合D Iは▲9.9（前回▲1.3）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

生産額・売上額	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	▲6.7	▲4.9	▲7.5	▲4.3	▲17.2	▲3.7	▲3.1	▲5.6	▲7.9
製造業	0.5	4.8	▲2.7	2.6	▲6.8	10.9	11.2	▲6.3	▲1.6
卸売業	▲8.3	▲6.8	▲18.6	▲5.6	▲17.6	▲5.6	▲11.0	▲12.5	▲13.7
小売業	▲12.2	▲18.6	▲11.8	▲12.5	▲19.6	▲14.1	▲13.6	▲2.1	▲19.4
サービス業	▲12.6	▲8.0	▲5.2	▲8.0	▲34.0	▲17.9	▲13.5	▲2.7	▲5.3



<参考> 先行き見通し

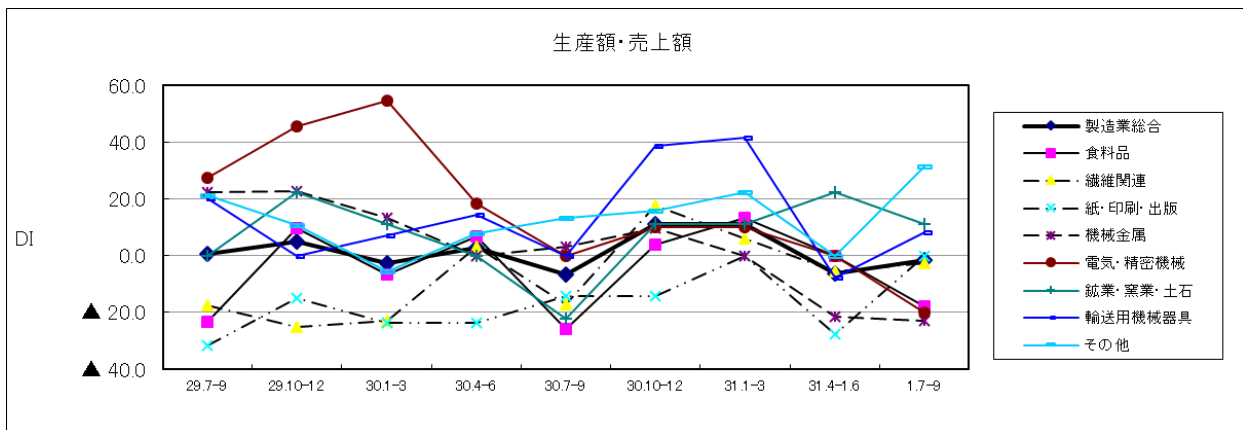
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	1.5	▲0.6	▲5.2	▲5.6	▲3.7	▲2.0	▲4.0	▲1.3	▲9.9



(2) 製造業の内訳

その他ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連ではマイナス幅が縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラス幅が縮小、食料品、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、機械金属ではマイナス幅が拡大した。

生産額・売上額	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	0.5	4.8	▲ 2.7	2.6	▲ 6.8	10.9	11.2	▲ 6.3	▲ 1.6
食料品	▲ 23.3	9.7	▲ 6.7	6.9	▲ 25.8	3.7	13.3	0.0	▲ 17.9
繊維関連	▲ 17.6	▲ 25.0	▲ 22.9	2.9	▲ 17.1	17.6	5.9	▲ 5.6	▲ 2.9
紙・印刷・出版	▲ 31.6	▲ 15.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 14.3	▲ 14.3	0.0	▲ 27.8	0.0
機械金属	22.2	22.6	13.3	0.0	3.1	9.7	0.0	▲ 21.4	▲ 22.9
電気・精密機械	27.3	45.5	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 20.0
鉱業・窯業・土石	0.0	22.2	11.1	0.0	▲ 22.2	11.1	11.1	22.2	11.1
輸送用機械器具	20.0	0.0	7.1	14.3	0.0	38.5	41.7	▲ 7.7	8.3
その他	21.1	10.8	▲ 5.6	7.9	13.2	15.8	22.2	0.0	31.4



3. 受注額

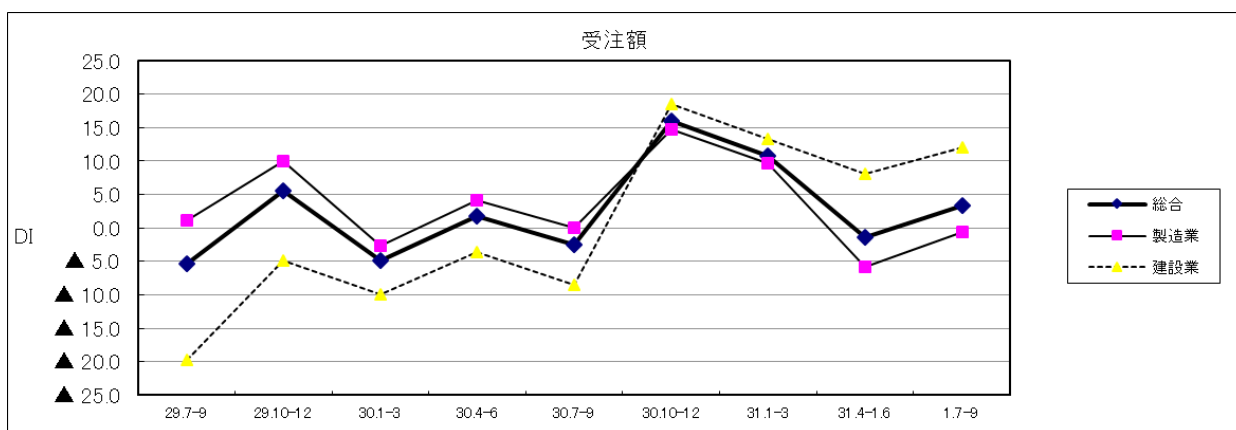
(1) 全体

総合D I（増加－減少）は3. 3と4～6月期に比べ4. 7ポイント好転しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、建設業でプラス幅が拡大、製造業でマイナス幅が縮小した。

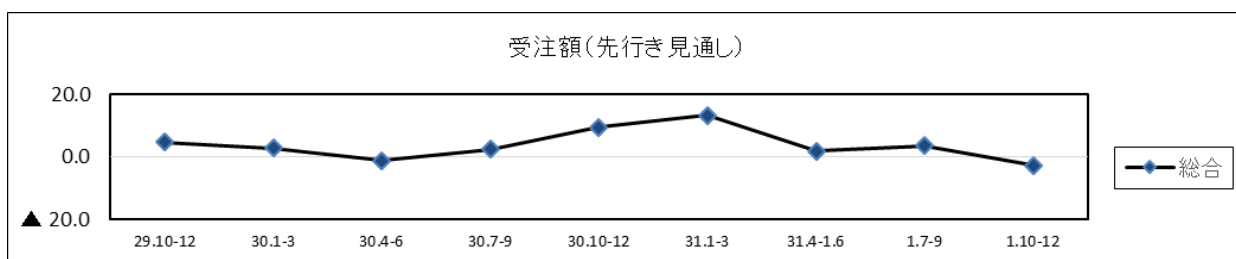
令和元年10～12月期の先行き見通し総合D Iは▲2. 6（前回3. 7）となり、プラスからマイナスへ転換する見通し。

受注額	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	▲ 5.3	5.5	▲ 4.9	1.8	▲ 2.6	16.0	10.7	▲ 1.4	3.3
製造業	1.1	10.1	▲ 2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲ 5.8	▲ 0.5
建設業	▲ 19.8	▲ 4.8	▲ 9.9	▲ 3.6	▲ 8.5	18.6	13.3	8.0	12.0



<参考> 先行き見通し

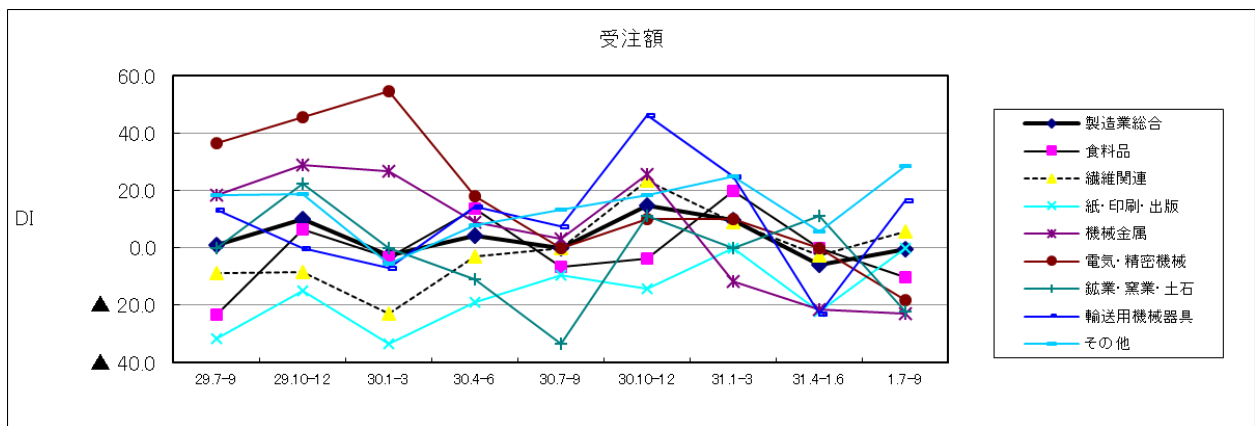
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	4.9	3.0	▲ 1.1	2.6	9.7	13.4	1.9	3.7	▲ 2.6



(2) 製造業の内訳

その他ではプラス幅が拡大、繊維関連、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換した。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換、食料品、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、機械金属ではマイナス幅が拡大した。

受注額	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	1.1	10.1	▲ 2.7	4.2	0.0	14.8	9.6	▲ 5.8	▲ 0.5
食料品	▲ 23.3	6.5	▲ 3.3	13.8	▲ 6.5	▲ 3.7	20.0	0.0	▲ 10.3
繊維関連	▲ 8.8	▲ 8.3	▲ 22.9	▲ 2.9	0.0	23.5	8.8	▲ 2.8	5.7
紙・印刷・出版	▲ 31.6	▲ 15.0	▲ 33.3	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	0.0	▲ 22.2	0.0
機械金属	18.5	29.0	26.7	8.8	3.1	25.8	▲ 11.8	▲ 21.4	▲ 22.9
電気・精密機械	36.4	45.5	54.5	18.2	0.0	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2
鉱業・窯業・土石	0.0	22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 33.3	11.1	0.0	11.1	▲ 22.2
輸送用機械器具	13.3	0.0	▲ 7.1	14.3	7.7	46.2	25.0	▲ 23.1	16.7
その他	18.4	18.9	▲ 5.6	7.9	13.2	18.4	25.0	5.6	28.6



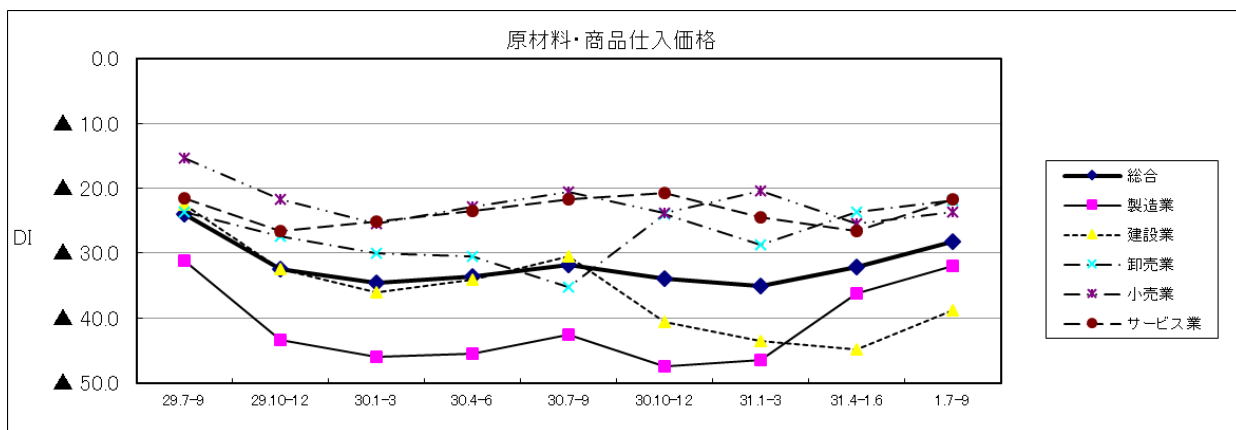
4. 原材料・商品仕入価格

(1) 全体

総合DI（下降－上昇）は▲28.3と4～6月期に比べ3.9ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

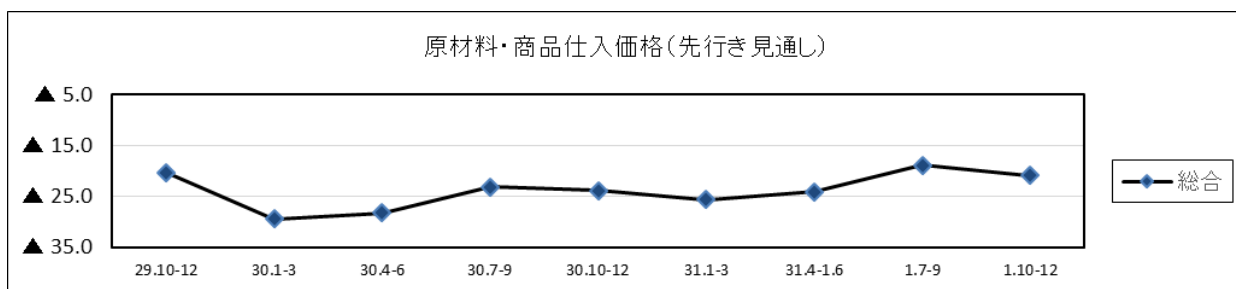
令和元年10～12月期の先行き見通し総合DIは▲21.0（前回▲19.0）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

原材料・商品仕入価格	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	▲24.1	▲32.5	▲34.6	▲33.6	▲31.9	▲34.0	▲35.0	▲32.2	▲28.3
製造業	▲31.1	▲43.4	▲45.9	▲45.5	▲42.6	▲47.5	▲46.5	▲36.2	▲31.9
建設業	▲22.6	▲32.6	▲36.1	▲34.1	▲30.6	▲40.7	▲43.5	▲44.8	▲38.8
卸売業	▲23.6	▲27.4	▲30.0	▲30.6	▲35.3	▲23.9	▲28.8	▲23.6	▲21.9
小売業	▲15.3	▲21.6	▲25.5	▲22.9	▲20.6	▲23.9	▲20.5	▲25.5	▲23.7
サービス業	▲21.5	▲26.6	▲25.2	▲23.6	▲21.7	▲20.8	▲24.5	▲26.7	▲21.7



<参考> 先行き見通し

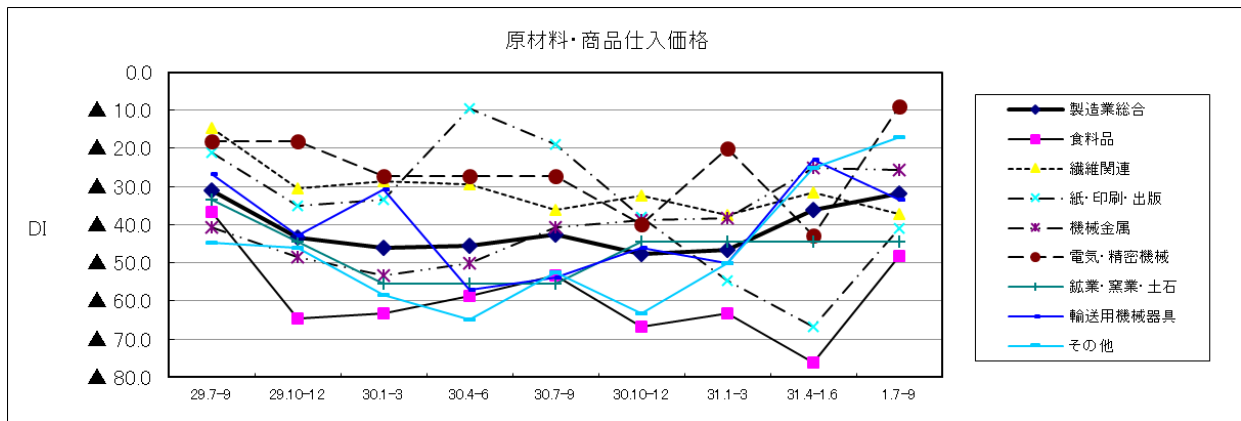
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	▲20.3	▲29.4	▲28.2	▲23.1	▲23.9	▲25.7	▲24.2	▲19.0	▲21.0



(2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版、電気・精密機械、その他ではマイナス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではマイナスで横ばいとなった。しかし、繊維関連、機械金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

原材料・商品仕入価格	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	▲ 31.1	▲ 43.4	▲ 45.9	▲ 45.5	▲ 42.6	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9
食料品	▲ 36.7	▲ 64.5	▲ 63.3	▲ 58.6	▲ 53.3	▲ 66.7	▲ 63.3	▲ 76.0	▲ 48.3
繊維関連	▲ 14.7	▲ 30.6	▲ 28.6	▲ 29.4	▲ 36.1	▲ 32.4	▲ 37.5	▲ 31.4	▲ 37.1
紙・印刷・出版	▲ 21.1	▲ 35.0	▲ 33.3	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 38.1	▲ 54.5	▲ 66.7	▲ 40.9
機械金属	▲ 40.7	▲ 48.4	▲ 53.3	▲ 50.0	▲ 40.6	▲ 38.7	▲ 38.2	▲ 25.0	▲ 25.7
電気・精密機械	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 9.1
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4
輸送用機械器具	▲ 26.7	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 57.1	▲ 53.8	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 33.3
その他	▲ 44.7	▲ 45.9	▲ 58.3	▲ 64.9	▲ 52.6	▲ 63.2	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 17.1



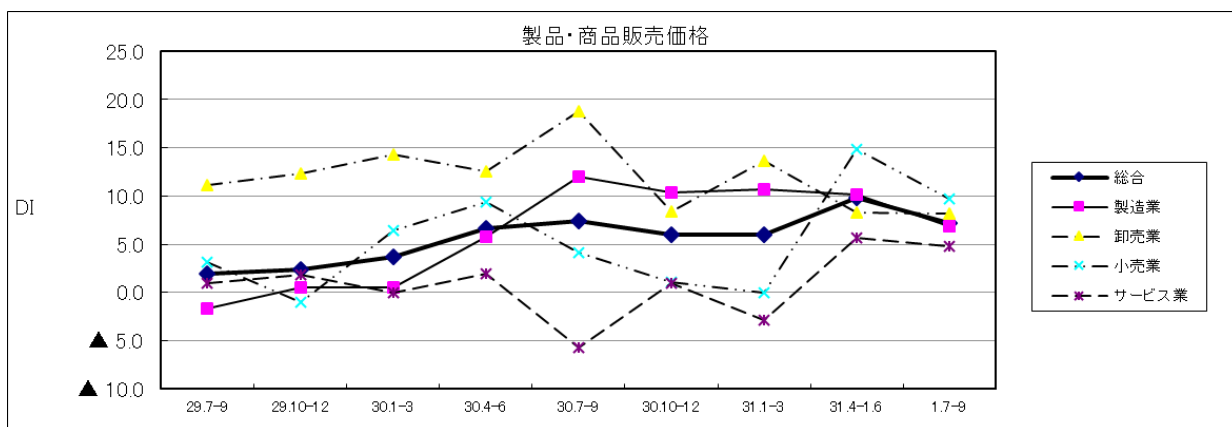
5. 製品・商品販売価格

(1) 全体

総合D I（上昇－下降）は7. 2と4～6月期に比べ2. 6ポイントプラス幅が縮小した。
業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

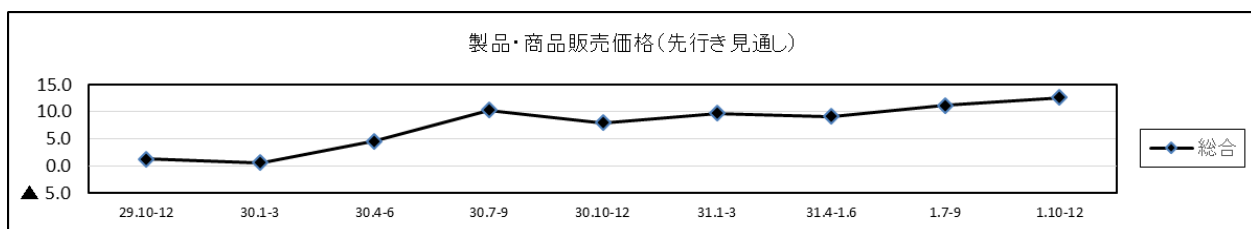
令和元年10～12月期の先行き見通し総合D Iは12. 7（前回11. 2）となり、プラス幅が拡大する見通し。

製品・商品販売価格	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	2.0	2.4	3.7	6.7	7.4	6.0	5.9	9.8	7.2
製造業	▲ 1.6	0.5	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9
卸売業	11.1	12.3	14.3	12.5	18.8	8.5	13.7	8.3	8.2
小売業	3.1	▲ 1.0	6.4	9.4	4.1	1.1	0.0	14.9	9.7
サービス業	0.9	1.9	0.0	1.9	▲ 5.7	0.9	▲ 2.8	5.7	4.8



<参考> 先行き見通し

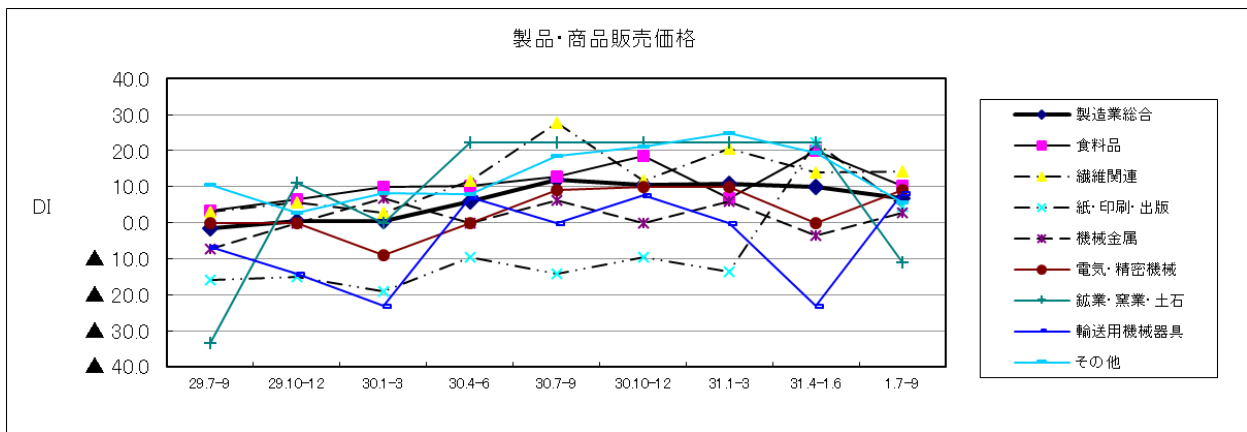
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	1.3	0.6	4.6	10.3	7.9	9.7	9.2	11.2	12.7



(2) 製造業の内訳

繊維関連ではプラス幅が拡大、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、機械金属、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換した。しかし、食料品、紙・印刷・出版、その他ではプラス幅が縮小、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換した。

製品・商品販売価格	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	▲ 1.6	0.5	0.5	5.8	12.0	10.4	10.7	10.1	6.9
食料品	3.3	6.5	10.0	10.3	12.9	18.5	6.7	20.0	10.3
繊維関連	2.9	5.6	2.9	11.8	27.8	11.8	20.6	13.9	14.3
紙・印刷・出版	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 13.6	22.2	4.5
機械金属	▲ 7.4	0.0	6.7	0.0	6.3	0.0	5.9	▲ 3.6	2.9
電気・精密機械	0.0	0.0	▲ 9.1	0.0	9.1	10.0	10.0	0.0	9.1
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	11.1	0.0	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	▲ 11.1
輸送用機械器具	▲ 6.7	▲ 14.3	▲ 23.1	7.1	0.0	7.7	0.0	▲ 23.1	8.3
その他	10.5	2.7	8.3	7.9	18.4	21.1	25.0	19.4	5.7



6. 製品在庫・商品在庫

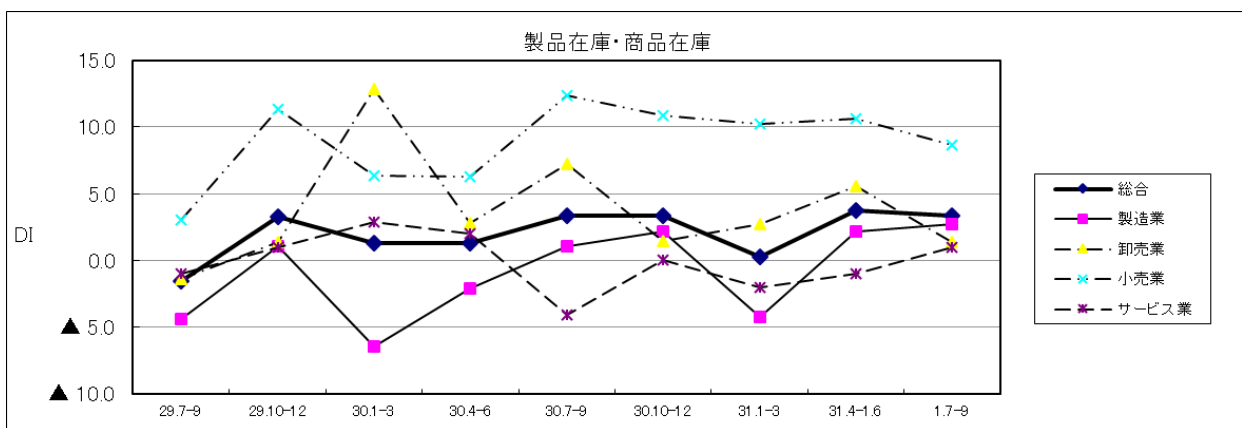
(1) 全体

総合DI（減少＝増加）は3.3と4～6月期に比べ0.4ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、製造業でプラス幅が拡大、サービス業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小した。

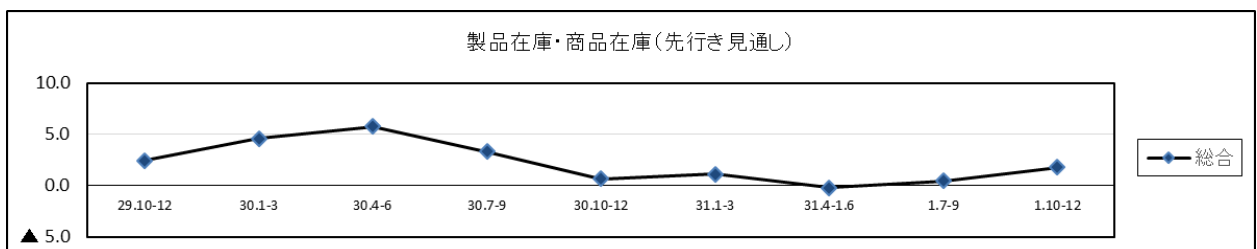
令和元年10～12月期の先行き見通し総合DIは1.8（前回0.4）となり、プラス幅が拡大する見通し。

製品在庫・商品在庫	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	▲ 1.5	3.3	1.3	1.3	3.3	3.4	0.2	3.7	3.3
製造業	▲ 4.4	1.1	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7
卸売業	▲ 1.4	1.4	12.9	2.8	7.2	1.4	2.7	5.6	1.4
小売業	3.1	11.3	6.4	6.3	12.4	10.9	10.2	10.6	8.6
サービス業	▲ 1.0	1.0	2.9	2.0	▲ 4.1	0.0	▲ 2.0	▲ 1.0	1.0



<参考> 先行き見通し

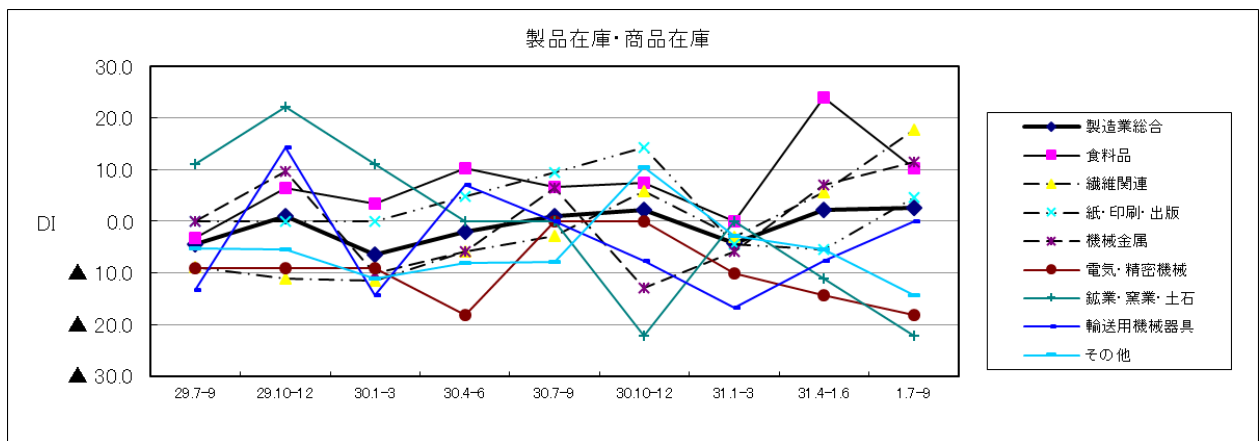
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	2.4	4.6	5.7	3.3	0.7	1.1	▲ 0.2	0.4	1.8



(2) 製造業の内訳

繊維関連、機械金属ではプラス幅が拡大、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換した。しかし、食料品ではプラス幅が縮小、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が拡大した。

製品在庫・商品在庫	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	▲ 4.4	1.1	▲ 6.5	▲ 2.1	1.1	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7
食料品	▲ 3.3	6.5	3.3	10.3	6.7	7.4	0.0	24.0	10.3
繊維関連	▲ 8.8	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 5.9	▲ 2.9	5.9	▲ 2.9	5.6	17.6
紙・印刷・出版	0.0	0.0	0.0	4.8	9.5	14.3	▲ 4.5	▲ 5.6	4.5
機械金属	0.0	9.7	▲ 10.0	▲ 5.9	6.5	▲ 12.9	▲ 5.9	7.1	11.4
電気・精密機械	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 18.2	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 18.2
鉱業・窯業・土石	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2
輸送用機械器具	▲ 13.3	14.3	▲ 14.3	7.1	0.0	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.7	0.0
その他	▲ 5.3	▲ 5.4	▲ 11.1	▲ 8.1	▲ 7.9	10.5	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 14.3



7. 資金繰り

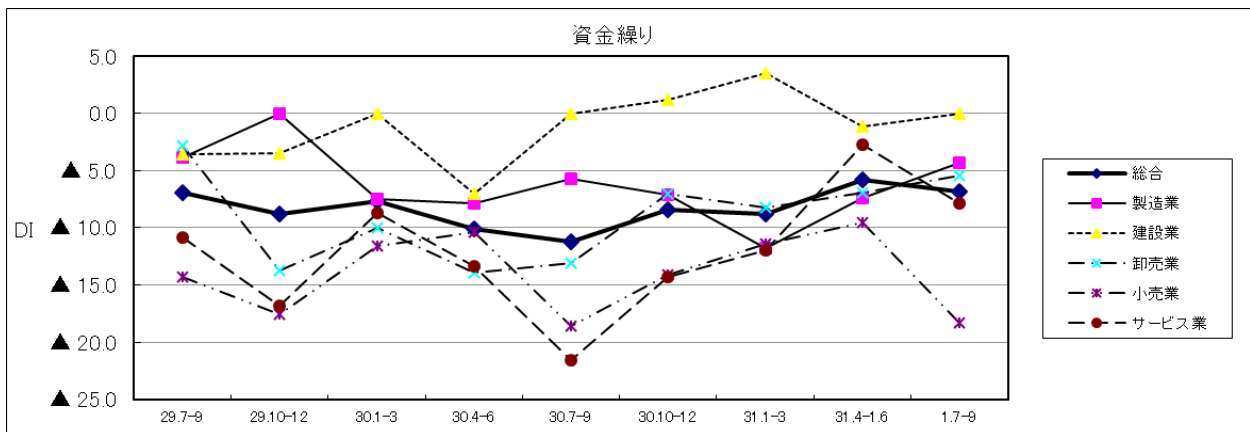
(1) 全体

総合D I（好転→悪化）は▲6.9と4～6月期に比べ1.1ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、建設業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

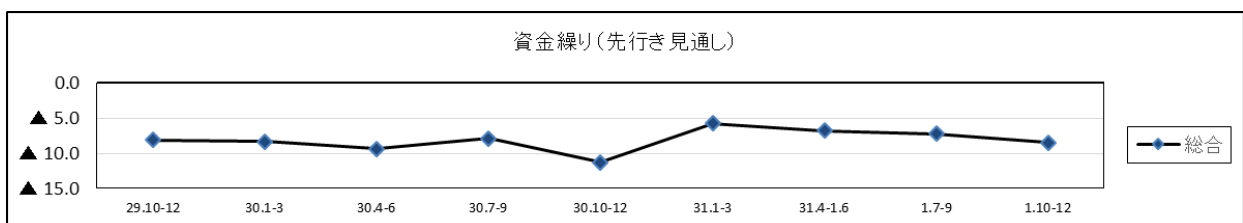
令和元年10～12月期の先行き見通し総合D Iは▲8.5（前回▲7.2）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

資金繰り	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	▲6.9	▲8.8	▲7.6	▲10.1	▲11.2	▲8.4	▲8.8	▲5.8	▲6.9
製造業	▲3.8	0.0	▲7.5	▲7.9	▲5.8	▲7.1	▲11.8	▲7.4	▲4.3
建設業	▲3.5	▲3.4	0.0	▲7.0	0.0	1.1	3.5	▲1.1	0.0
卸売業	▲2.8	▲13.7	▲10.0	▲13.9	▲13.0	▲7.0	▲8.2	▲6.9	▲5.5
小売業	▲14.3	▲17.5	▲11.6	▲10.4	▲18.6	▲14.1	▲11.4	▲9.6	▲18.3
サービス業	▲10.8	▲16.8	▲8.7	▲13.4	▲21.6	▲14.3	▲11.9	▲2.7	▲7.9



<参考> 先行き見通し

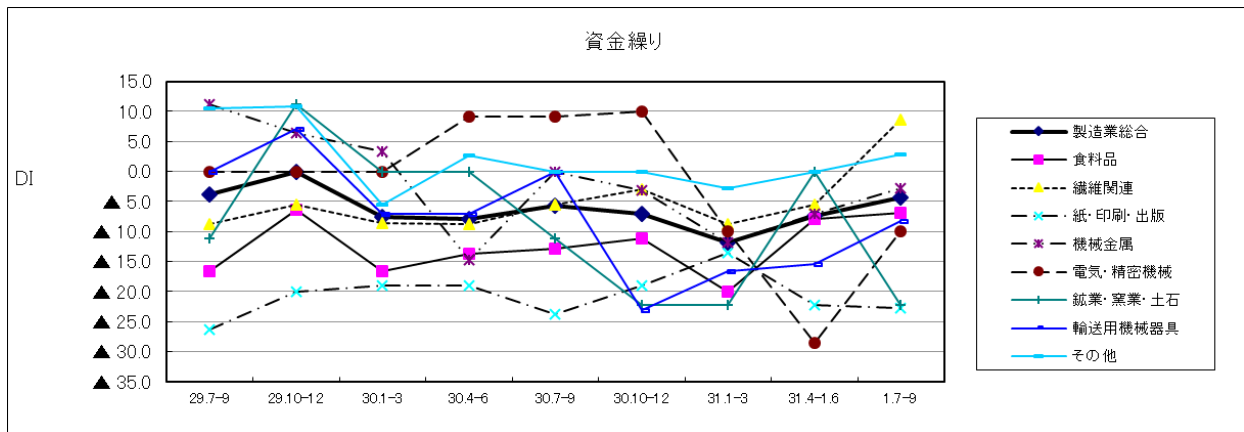
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	▲8.1	▲8.3	▲9.3	▲7.9	▲11.3	▲5.8	▲6.8	▲7.2	▲8.5



(2) 製造業の内訳

その他ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、繊維関連ではマイナスからプラスへ転換、食料品、機械金属、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	▲ 3.8	0.0	▲ 7.5	▲ 7.9	▲ 5.8	▲ 7.1	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3
食料品	▲ 16.7	▲ 6.5	▲ 16.7	▲ 13.8	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 6.9
繊維関連	▲ 8.8	▲ 5.6	▲ 8.6	▲ 8.8	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 5.6	8.6
紙・印刷・出版	▲ 26.3	▲ 20.0	▲ 19.0	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 19.0	▲ 13.6	▲ 22.2	▲ 22.7
機械金属	11.1	6.5	3.3	▲ 14.7	0.0	▲ 3.2	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 2.9
電気・精密機械	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	10.0	▲ 10.0	▲ 28.6	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	▲ 11.1	11.1	0.0	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2
輸送用機械器具	0.0	7.1	▲ 7.1	▲ 7.1	0.0	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 8.3
その他	10.5	10.8	▲ 5.6	2.6	0.0	0.0	▲ 2.8	0.0	2.9



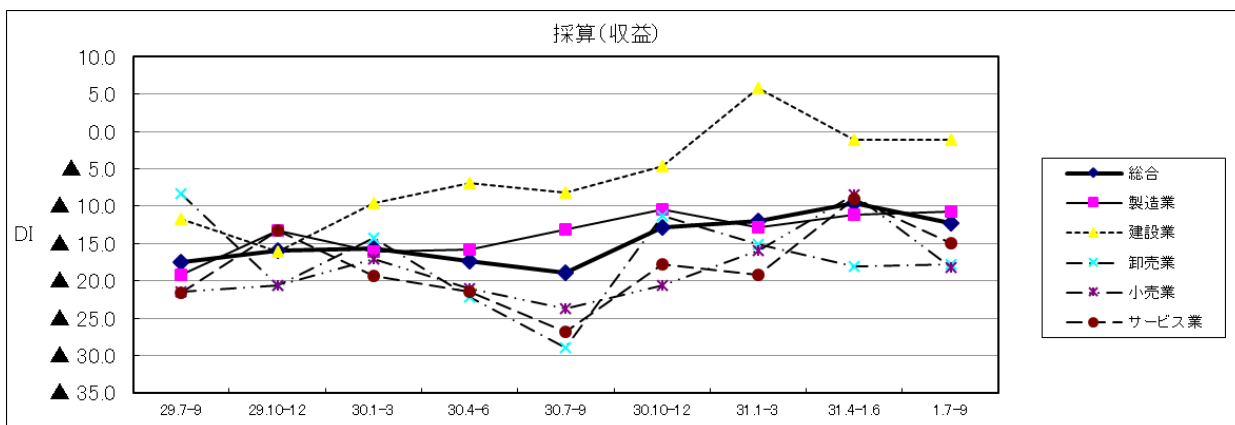
8. 採算 (収益)

(1) 全体

総合D I (好転→悪化) は▲12.3と4～6月期に比べ2.7ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、卸売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

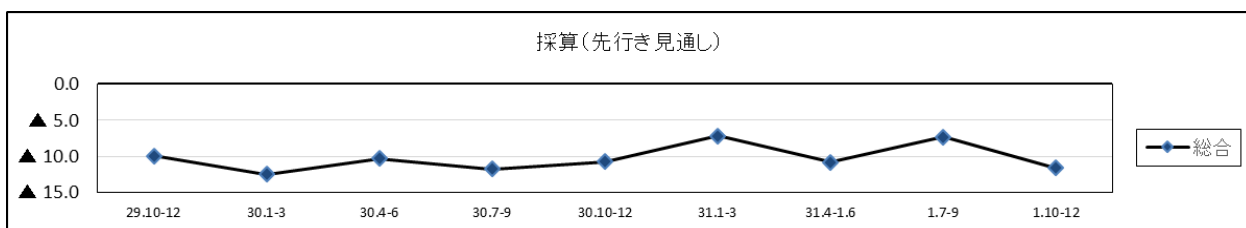
令和元年10～12月期の先行き見通し総合D Iは▲11.6 (前回▲7.3) となり、マイナス幅が拡大する見通し。

採算(収益)	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	▲17.5	▲15.9	▲15.7	▲17.3	▲18.9	▲12.9	▲12.0	▲9.6	▲12.3
製造業	▲19.2	▲13.3	▲16.1	▲15.8	▲13.1	▲10.4	▲12.9	▲11.1	▲10.7
建設業	▲11.8	▲16.1	▲9.6	▲7.0	▲8.1	▲4.7	5.8	▲1.1	▲1.2
卸売業	▲8.3	▲20.5	▲14.3	▲22.2	▲29.0	▲11.3	▲15.1	▲18.1	▲17.8
小売業	▲21.4	▲20.6	▲17.0	▲21.1	▲23.7	▲20.7	▲15.9	▲8.5	▲18.3
サービス業	▲21.6	▲13.3	▲19.3	▲21.4	▲26.8	▲17.9	▲19.3	▲9.0	▲14.9



<参考> 先行き見通し

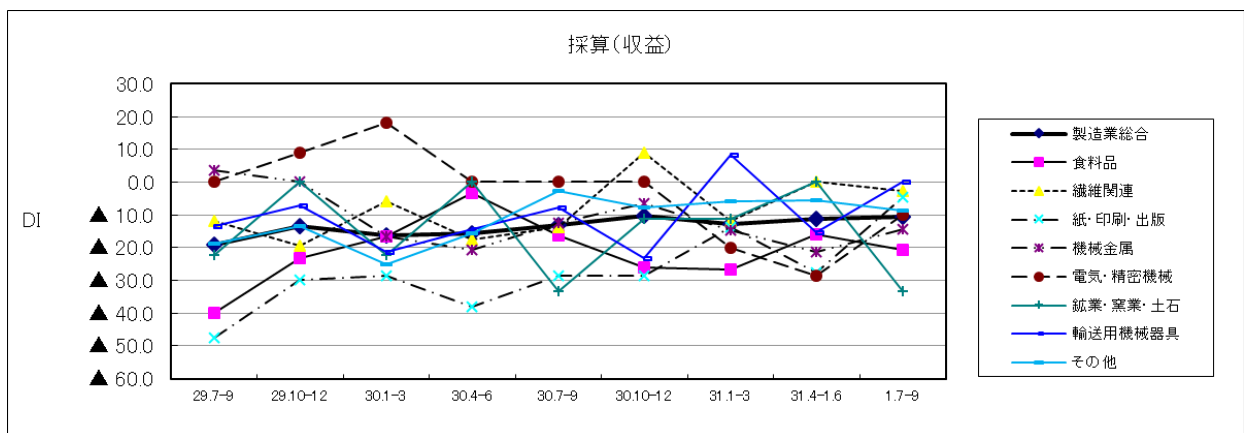
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	▲9.9	▲12.5	▲10.3	▲11.7	▲10.7	▲7.2	▲10.8	▲7.3	▲11.6



(2) 製造業の内訳

輸送用機械器具ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、食料品、その他ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	▲ 19.2	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 15.8	▲ 13.1	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 10.7
食料品	▲ 40.0	▲ 23.3	▲ 16.7	▲ 3.4	▲ 16.1	▲ 25.9	▲ 26.7	▲ 16.0	▲ 20.7
繊維関連	▲ 11.8	▲ 19.4	▲ 5.7	▲ 17.6	▲ 13.9	8.8	▲ 11.8	0.0	▲ 2.9
紙・印刷・出版	▲ 47.4	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 38.1	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 13.6	▲ 27.8	▲ 4.5
機械金属	3.7	0.0	▲ 16.7	▲ 20.6	▲ 12.5	▲ 6.5	▲ 14.7	▲ 21.4	▲ 14.3
電気・精密機械	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	▲ 33.3
輸送用機械器具	▲ 13.3	▲ 7.1	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 7.7	▲ 23.1	8.3	▲ 15.4	0.0
その他	▲ 18.9	▲ 13.5	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 2.6	▲ 7.9	▲ 5.7	▲ 5.6	▲ 8.6



9. 従業員数（常用）

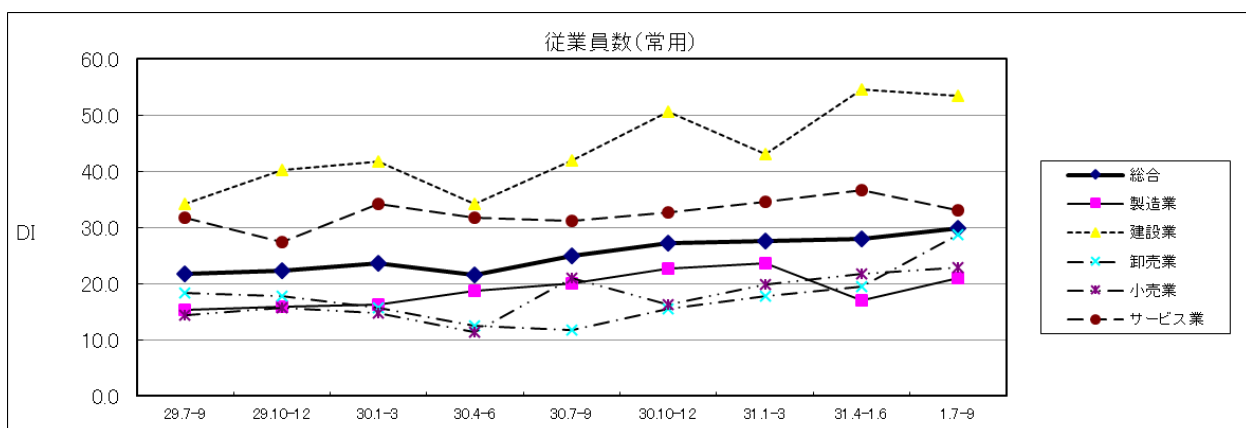
(1) 全体

総合D I（不足一過剰）は29.9と4～6月期に比べ1.8ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、卸売業、小売業でプラス幅が拡大した。しかし、建設業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

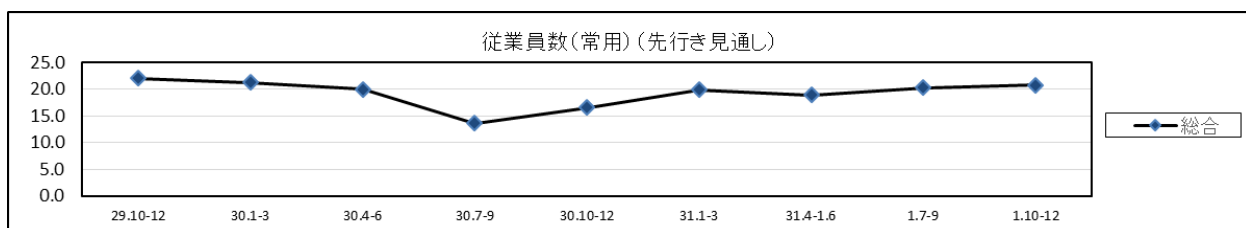
令和元年10～12月期の先行き見通し総合D Iは20.8（前回20.3）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(常用)	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	21.8	22.3	23.6	21.6	25.0	27.2	27.5	28.1	29.9
製造業	15.4	16.0	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0
建設業	34.1	40.2	41.7	34.1	41.9	50.6	43.0	54.5	53.5
卸売業	18.3	17.8	15.7	12.5	11.8	15.5	17.8	19.4	28.8
小売業	14.4	15.6	14.7	11.5	21.1	16.3	19.8	21.7	22.8
サービス業	31.8	27.4	34.2	31.8	31.2	32.7	34.5	36.7	33.0



<参考> 先行き見通し

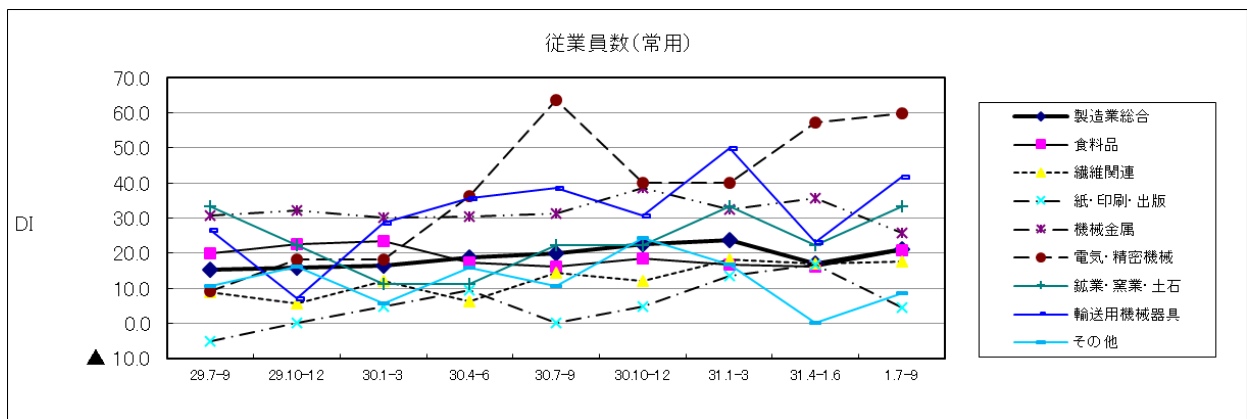
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	22.1	21.3	20.1	13.7	16.6	19.9	18.9	20.3	20.8



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではプラス幅が拡大、その他ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換した。しかし、紙・印刷・出版、機械金属ではプラス幅が縮小した。

従業員数(常用)	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	15.4	16.0	16.3	18.7	20.0	22.7	23.7	17.0	21.0
食料品	20.0	22.6	23.3	17.2	16.1	18.5	16.7	16.0	20.7
繊維関連	8.8	5.7	12.1	6.3	14.3	12.1	18.2	17.1	17.6
紙・印刷・出版	▲ 5.3	0.0	4.8	9.5	0.0	4.8	13.6	16.7	4.5
機械金属	30.8	32.3	30.0	30.3	31.3	38.7	32.4	35.7	25.7
電気・精密機械	9.1	18.2	18.2	36.4	63.6	40.0	40.0	57.1	60.0
鉱業・窯業・土石	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	22.2	33.3
輸送用機械器具	26.7	7.1	28.6	35.7	38.5	30.8	50.0	23.1	41.7
その他	10.5	16.2	5.6	15.8	10.5	24.3	16.7	0.0	8.6



10. 従業員数（臨時）

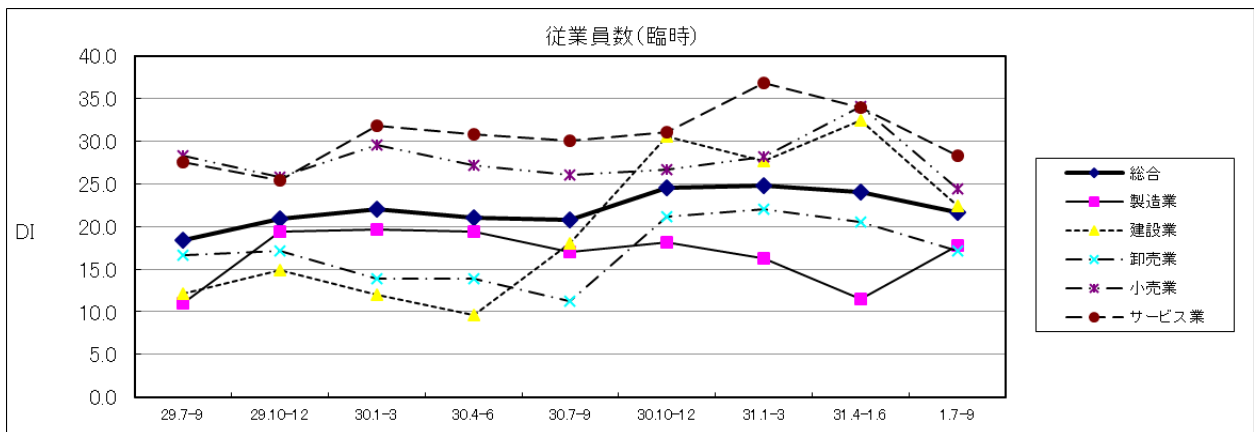
(1) 全体

総合D I（不足－過剰）は21.7と4～6月期に比べ2.4ポイントプラス幅が縮小した。

業種別では、製造業でプラス幅が拡大した。しかし、建設業、卸売業、小売業、サービス業ではプラス幅が縮小した。

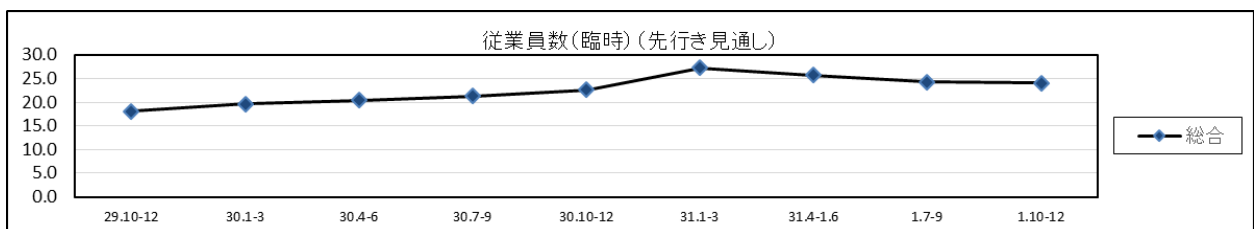
令和元年10～12月期の先行き見通し総合D Iは24.0（前回24.3）となり、プラス幅が縮小する見通し。

従業員数(臨時)	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
総合	18.4	20.9	22.0	21.1	20.7	24.6	24.9	24.1	21.7
製造業	11.0	19.4	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7
建設業	12.2	14.9	12.0	9.6	18.1	30.6	27.6	32.4	22.4
卸売業	16.7	17.2	13.8	13.8	11.3	21.2	22.1	20.6	17.1
小売業	28.3	25.8	29.5	27.2	26.1	26.7	28.2	34.1	24.4
サービス業	27.6	25.5	31.8	30.8	30.1	31.1	36.9	34.0	28.3



<参考> 先行き見通し

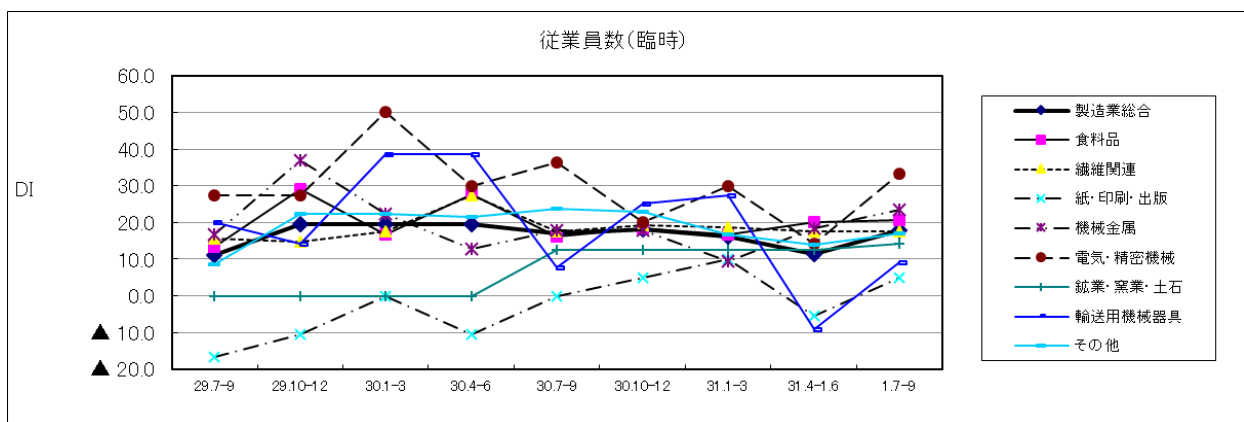
先行き見通し	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12
総合	18.1	19.6	20.4	21.2	22.6	27.2	25.7	24.3	24.0



(2) 製造業の内訳

食料品、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、その他ではプラス幅が拡大、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連ではプラスで横ばいとなった。

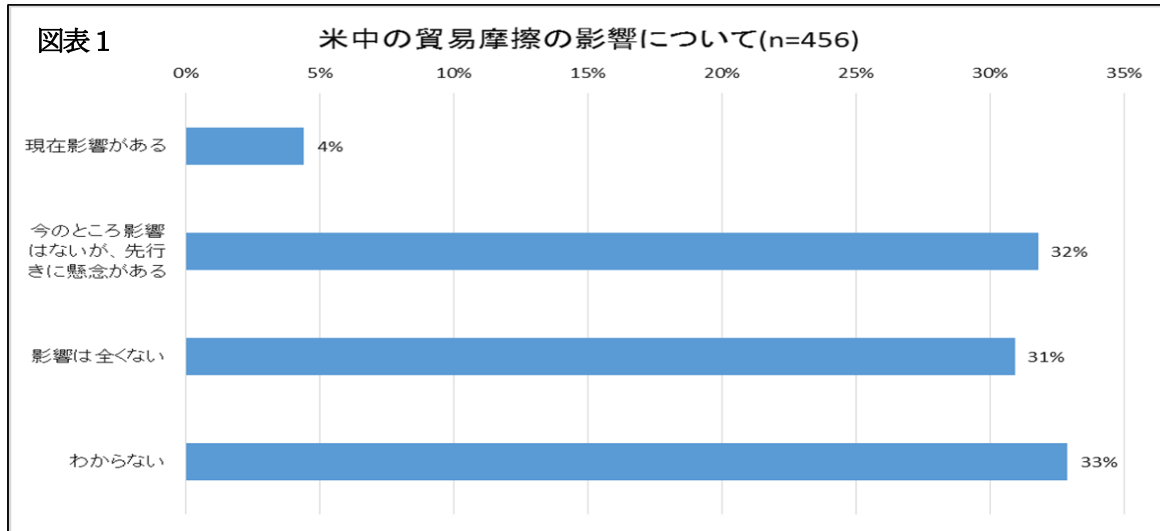
従業員数(臨時)	29.7-9	29.10-12	30.1-3	30.4-6	30.7-9	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9
製造業総合	11.0	19.4	19.7	19.4	17.0	18.1	16.2	11.5	17.7
食料品	13.3	29.0	16.7	27.6	16.1	18.5	16.7	20.0	20.7
繊維関連	15.6	14.7	17.6	27.3	17.6	19.4	18.8	17.6	17.6
紙・印刷・出版	▲ 16.7	▲ 10.5	0.0	▲ 10.5	0.0	5.0	10.0	▲ 5.6	5.0
機械金属	16.7	37.0	22.2	12.9	17.9	17.9	9.4	18.5	23.3
電気・精密機械	27.3	27.3	50.0	30.0	36.4	20.0	30.0	14.3	33.3
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	14.3
輸送用機械器具	20.0	14.3	38.5	38.5	7.7	25.0	27.3	▲ 9.1	9.1
その他	8.6	22.2	22.2	21.6	23.7	22.9	16.7	13.9	17.1



◆付帯調査：米中の貿易摩擦の影響について

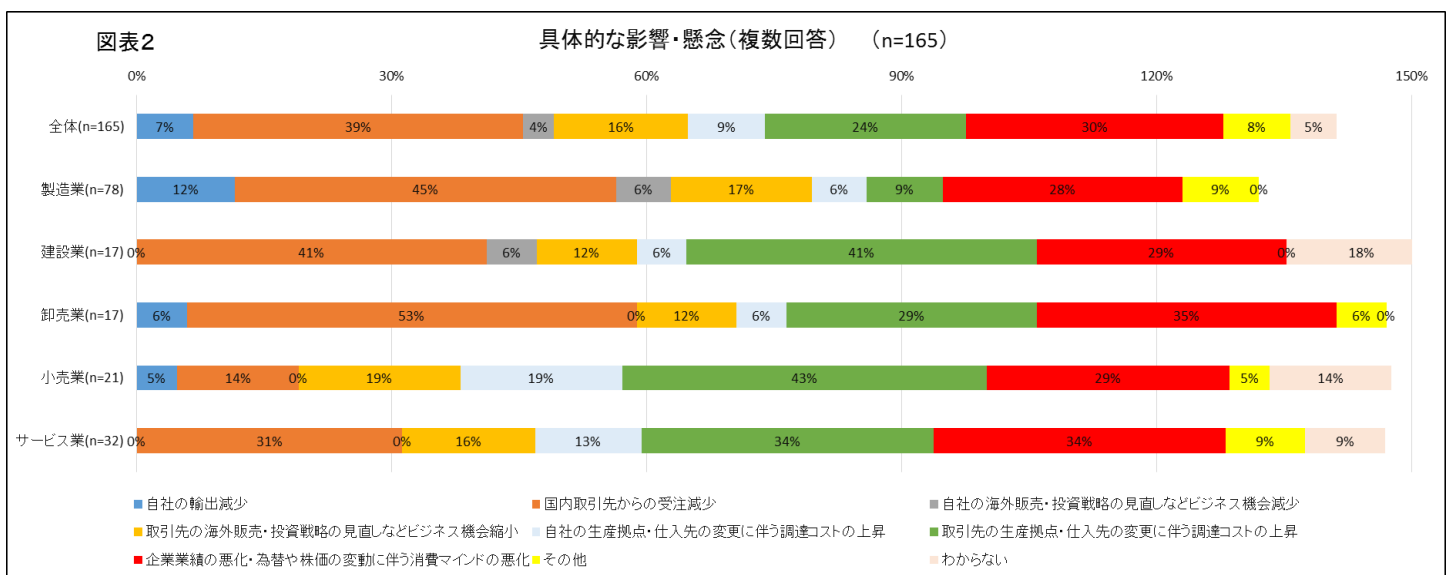
(1) 米中の貿易摩擦が一段と激化していますが、これに伴う貴事業所への影響について、当てはまるものを1つお選びください。

- (ア) 現在影響がある (イ) 今のところ影響はないが、先行きに懸念がある
 (ウ) 影響は全くない (エ) わからない



(2) 設問(1)で(ア)または(イ)を選んだ方にお伺いします。具体的な影響(懸念を含む)を選択肢からお選びください。(複数回答可)

- (ア) 自社の輸出減少 (イ) 国内取引先からの受注減少
 (ウ) 自社の海外販売・投資戦略の見直しなどビジネス機会縮小
 (エ) 取引先の海外販売・投資戦略の見直しなどビジネス機会縮小
 (オ) 自社の生産拠点・仕入先の変更に伴う調達コストの上昇
 (カ) 取引先の生産拠点・仕入先の変更に伴う調達コストの上昇
 (キ) 企業業績の悪化・為替や株価の変動に伴う消費マインドの悪化
 (ク) その他 (ケ) わからない



※複数回答のため、表中にラベル表記されるパーセントは回答項目を選んだ人が回答者のうち、何パーセントを占めるかを示している。そのため、各回答項目の比率を合計すると100%を超えることもある。

○その他の主な意見

- ・よい影響があるのではないかと考えている（米国への輸出拡大）（倉敷・食料品）
- ・中国工場に委託して製造しているが、当社以外からの注文数が減少しているため、納期が早くなったり、値上げ要請がなくなったりなど、当社にとっては有利な状況になっている（倉敷・繊維関連）
- ・原材料費の高騰を懸念（笠岡・サービス業）
- ・為替の変動に伴う調達コストの不安定化（倉敷・その他の製造業）
- ・燃料、資材などの調達コスト上昇や、入荷のタイミングの悪化など、先行きに不安を感じる（新見・鋳業・窯業・土石）
- ・中国からのインバウンド客の減少（児島・サービス業）